

インバケット研修

通常私たちは様々な案件を関係者からの聞き取りや部下からの報告、意見調整などを経て処理しています。インバケット研修とは、これらを限られた時間内に自らの判断基準や優先順位によつて的確に処理する能力の向上を目的とした研修です。

※ インバケットとは、机の上にある「未決済箱」のことです。

I インバケット研修の対象者

インバケット研修の対象者は、新入社員から中堅社員、管理職、経営者といった全社員を対象に実施することが可能です。また、繰り返し研修を行うことで社員の問題解決能力や業務処理能力の向上が期待できます。



II インバケット研修の効果

① 問題解決能力が向上する

日々発生する課題に対して多面的な視点でとらえることが可能になるため、冷静かつ的確に解決できるようになります。また、判断に要する時間が短くなることで、業務効率が向上します。

② 社内での判断基準の共有化

社員によって物事の判断基準はそれぞれ違います。何を最優先とするのか？研修の場で経営者の考える優先順位を知り、共有化することで社員に経営理念の浸透を図ります。

③ 業務の優先順位を付けられるようになる

複数の課題がある場合、業務の難易度で処理する順番を決めがちです。何から処理するか？その的確な優先順位の決め方をこの研修を通じて身につけます。

Ⅲ インバケット研修の活用方法

① スコアリング

インバケット研修での回答内容から、業務遂行能力、問題発見・解決能力、対人関係・組織形成能力を把握することができます。

② 管理職への登用試験

管理職への登用の際にインバケットを試験として行うことで、管理職としての確かな判断能力を有しているかどうかを測ることができます。

③ 不適格社員の発見、指導

普段真面目な勤務態度の社員が、判断を迫られる場面になるとパニックを起こす傾向があったり、うつ傾向がありメンタルヘルス面での指導が必要であるといったことを事前を知ることで適切に対処することができます。



お問い合わせは…

原川社会保険労務士事務所

〒427-0045 静岡県 島田市 向島町 4536-1

TEL:0547-37-3035 FAX:0547-37-3056

mail:roumu@harakawa-s.jp